



# 六中だより

## 分かるということ

校長 相馬 朋行

今号では、生徒のみなさんに「学習」についてお話しします。

みなさんは、「昨日までできなかったことが今日になったらできるようになった」とか、「昨日まで知らなかったことを今日になったら知ることができた」という経験はありませんか？ こういったことは、学習の積み重ねによって起こります。

人は誰でも知的好奇心をもっています。すなわち、「物事の仕組みなどを詳しく知りたい」、あるいは「技術を学び、身に付けたい」という欲求があります。それを達成するには学習することが必要です。したがって、学習とは知的好奇心を満たすものであり、本来楽しいものであるはずなのです。しかし、なかなかそうはいきません。発達段階が進むにつれて知りたいという欲求のレベルが高くなり、学習内容も難しくなってくるからです。でも、難しいからといってそのままにしておくとう頭の中がすっきりしませんね。

さて、ここに色や大きさの違うボールがたくさんあり、それらがごちゃ混ぜになっているとします。そのボールをまず、色別に分けてみます。どうですか。少しすっきりしましたか？ さらに、ボールを同じ大きさごとに分けてみます。これで、色別、大きさ別のグループができました。だいたいすっきりしましたか？ 今、ボールを色や大きさが同じものに分けてみましたが、このように、分けてすっきりした状態が「分かる」ということです。「分ける」も「分かる」も同じ字「分」を使いますよね。読み方も似ています。実は、「分かる」という言葉は「分ける」という言葉が語源になっているのです。つまり、ごちゃごちゃしている状態を整理して「分ける」ことが、頭の中がすっきりして「分かる」ことにつながるのだということです。

学習をしているときに、頭の中がうまく整理できず、混乱してしまうことがあります。そういう時は、一つ一つの事柄をきちんと分けてみるとすっきりすることがあります。「困難は分割せよ」という考えがあります。つまり、「できることは何か、できないことは何か」「理解していることは何か、理解していないこと何か」をまず明確にすることが大切だということです。そのあとで、できないことや理解していないことを一つずつ解消していけばよいのです。

たとえば、3年生は数学の授業で因数分解を学習したと思います。因数分解の問題が公式別に分かれているときは簡単にできるのに、ごちゃ混ぜになっているとできない、という人はいませんか？ そういう時は、とりあえず、一つ一つ丁寧に公式に当てはめて確かめていけばよいのです。そういった繰り返しをすることで、やがて問題を見たときに、この問題を解くにはこの公式を使えばよい、ということが瞬時に分かるようになるのです。

若いみなさんの頭脳にはたくさんのお話を吸収できる容量があります。先ほど述べたように一見、理解不能・解決不能と思われることも、その困難を分割し、一つ一つ解決することで、全体の解決につながるがあります。頭の中の引き出しをときどき整理して、蓄積した知識や技能を最大限に発揮できるようにしておけば、新しい学習内容も十分に吸収することができます。がんばってください。

# 教育実習が終わりました

5月28日(土)、体育大会が行われた日に教育実習が終わりました。教育実習生のみなさんから全校生徒に向けてメッセージをいただきましたので、紹介します。

## 教育実習生 小倉 直希 (音楽)

みなさんは自分の声は好きですか？ 声を出すための「声帯」は一人一人違います。「今日の声のトーン、なんだかいつもと違うな、調子が悪いな」と感じるときは、多くの場合、風邪などの身体の不調が原因です。しかし、悩みごとがあるなどの心の不調が原因となっていることがあります。それは、「声」が「心」のバロメーターとなっているからなのです。みなさんは、たった一つしかない自分の「声」を大切にしてください。「声」は「心」や「身体」と同じくらい大切です。

この3週間は本当に充実した毎日でした。苦労したこともありましたが、私の「声」は絶好調でした。生徒のみなさん、短い間でしたが、ありがとうございました。

## 教育実習生 猪又 春稀 (保健体育)

体育大会の練習を通してみなさんの楽しそうな姿、がんばっている姿、悔しがる姿などたくさんの方の姿を見ることができました。みなさんはどんな思い出ができましたか？ さて、私はこの3週間でチームワークとは何かということを考えました。そして、チームワークには自分や仲間たちの「想い」が一番大切なのではないかと考えるようになりました。クラスの団結に向けて熱い想いをもつ人がいても、一人だけではチームワークは生まれません。自分の想いをどう発信し、仲間がそれをどう受け止めるかということが大切です。チームワークは話し合いや助け合い、支え合いを経てどんどん良くなっていきます。これからもクラスメイトとのチームワークをどんどん育成して行って、最高のクラスを作り上げてください。ありがとうございました。

## 教育実習生 森 耀彦 (社会)

生徒のみなさん、3週間という短い間でしたが、私たち実習生を温かく迎えてくれてありがとうございました。

六中生は元気にあいさつをしてくれる人がたくさんいますね。私はそんな皆さんの元気をもらえたからこそ大変な時でもがんばることができました。ところで、あいさつをする意味とは何だと思いませんか？ おそらく答えは一つではありません。私が恩師から教わったのは、「あいさつは平和の第一歩だから」という答えでした。明るいあいさつは人間関係を明るくしてくれます。私はあいさつが苦手ですが、明るく一日を過ごせるようにがんばってあいさつをしています。みなさんもぜひ、あいさつの意味を見つけてください。意味をもつあいさつが、きっとみなさんの人生を豊かにしてくれるはずです。これからもがんばってください。

## ◎保護者の皆様へ◎

5月中は14日(土)学校公開、28日(土)体育大会にご来校いただきありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来校時の人数制限をさせていただきました。ご了承ください。これからもコロナ禍の中で様々な制約はあるかと思いますが、学校の教育活動においては、生徒の学びを最大限に支援し、学校生活の充実に向けて努力いたします。

引き続き、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。